

2019年度

東海大学春学期入学式  
学長式辞　日本語抄訳

---

2019年度東海大学入学式にあたり、多数のご来賓の皆様にご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

それぞれの課程に入学される皆さんのこれまでのご努力に敬意を表し、心よりご入学をお祝い申し上げます。また、本日ご参列のご家族の皆様方にもお祝い申し上げます。

では、東海大学の教育の基本方針と皆さんへの期待についてお話しします。

本学は設立当初より文理融合型カリキュラムを編成し、また、世界の国々と文化、学術、スポーツを通して、学生や教職員の交流を推進することなどにより、幅広く豊かな思想を持った人材の育成を目指す教養教育の重要性を、教育の根底に据えています。

大学での授業や様々な活動を通して、卒業までに身に付ける力をわかりやすく「四つの力」として設定しています。それは、「自ら考える力」、「集う力」、「挑む力」、「成し遂げる力」であります。

これらの力を獲得する過程の中で、私としては皆さんに以下の三点をお願いしたいと思います。

一点目は、「人生を如何に生きるべきか」ということを考えて頂きたいということです。こんな哲学的なことをじっくりと考える時間があるのは、若者の特権かもしれません。その答えを探るために、皆さんの直接専門とする科目のほかにも、縁のないと思うような授業も履修してみてください。新たな学問との出会い、人との出会いがあります。本学のような総合大学で学ぶ利点のひとつです。

私自身は、大学で法律を専攻しましたが、それ以外に、哲学や文学、当時はものめずらしかったコンピューターの授業などを受講したことを、よく記憶しています。

二点目は、グローバル化時代をたくましく生き抜く力を身につけて欲しいということです。物も人も国境を越えて絶え間なく流動する時代になっており、当然ながら日本もその波から逃れることはできません。

---

---

そのグローバル社会に挑むために、まず第一歩として、外から日本を見て、よく知ってください。東海大学には世界に築いた広大なネットワークを駆使した、留学プログラムがあります。また、世界40国以上から留学生が本学のキャンパスで学んでいます。大規模大学のメリットを存分に活用してください。

三点目は、東海大学生としてのアイデンティティを確立して、誇りを持って欲しいということです。それは個々人が、ひとり部屋に閉じこもっていたのでは、得られるものではありません。仲間と集い、挑戦し、成し遂げる経験を通じて、皆さん的心の中に、それぞれの「東海大学」を刻み込んでください。

皆さんがこれから学ぶことになる本学独自の科目に「現代文明論」があります。本学創立者である松前重義博士は、晩年の現代文明論の講義の中で大学の使命を「我々のこの営みは、明日の日本を支える諸君を創りたいからであります。それがすなわち我々の後世への遺物であり遺産であると思う。輝かしい歴史を残そうではありませんか」と述べ、学生たちを鼓舞しています。皆さんがこれから的学生生活を通じて明日の日本を支えるたくましい人間になることを切に願っています。

さて一昨年、本学園は建学75周年を迎きました。それを機に、クオリティ・オブ・ライフを共通のキーワードとして、建学100周年を見据えて新たな挑戦をしています。「先駆けであること～Think Ahead, Act for Humanity～」というブランドメッセージを掲げました。このメッセージを胸に、学びも遊びも主体的に取り組み、自らの将来を見据え、充実したキャンパスライフを送ってください。

健康で希望に満ちた素晴らしい学生生活を送られるよう、教職員一同で精一杯支援いたします。

2019年4月2日

東海大学学長 山田 清志

---